

ウィットブレッド世界一周レース

進藤正雄

The whitbread round the world race

Masao Shindo

一般にヨットと言うと皆さんはどのようなイメージを描くでしょうか。多くの人たちは夏の海, 沖に白いセール(帆)を靡かせて, 優雅にのんびりとセーリングしている姿を想

像するのではないのでしょうか。

このような小型のヨットはディンギーと呼ばれています。長さは4メートル前後です(写真1, 2)。もう少し大型になるとヨットの中

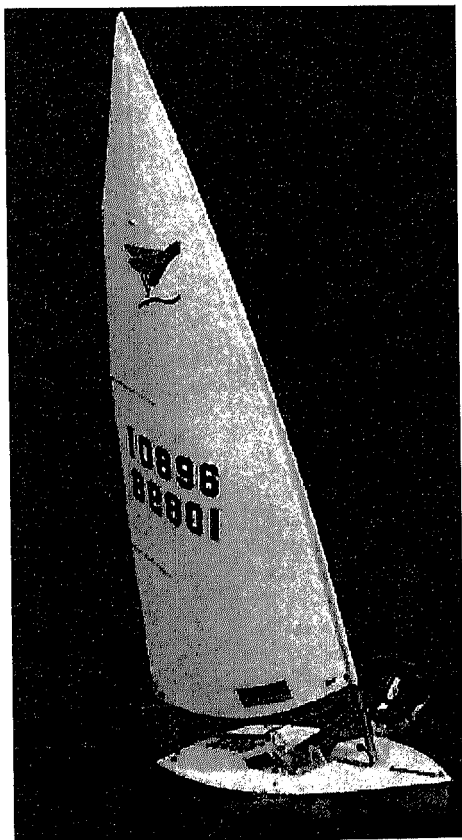


写真1 シーホッパー

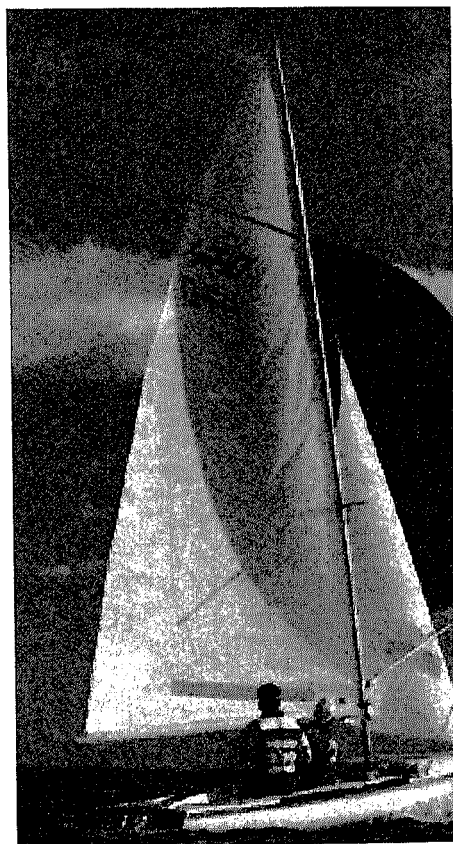


写真2 470級

にベッド・リビング・キッチン・トイレ等が備わっている、いわゆるクルーザー(写真3, 4)と呼ばれているヨットを思いうかべるでしょう。

日本でヨットと呼ぶと前述のディンギーや

クルーザーを思いうかべるのですが、世界のヨットは多少イメージが違って、軍艦や営業で使っている船以外のものをすべてヨットと呼んでいます。つまり個人で使う船であるならば、エンジンだけで走る大きな船も

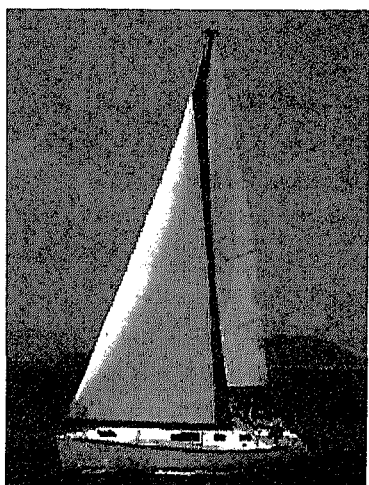


写真3 クルーザー

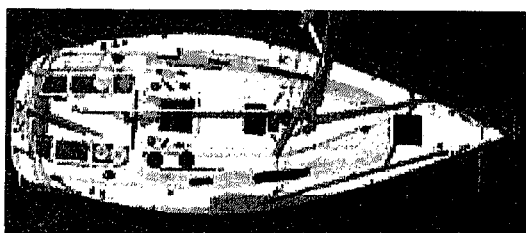


写真4 上から見たクルーザー

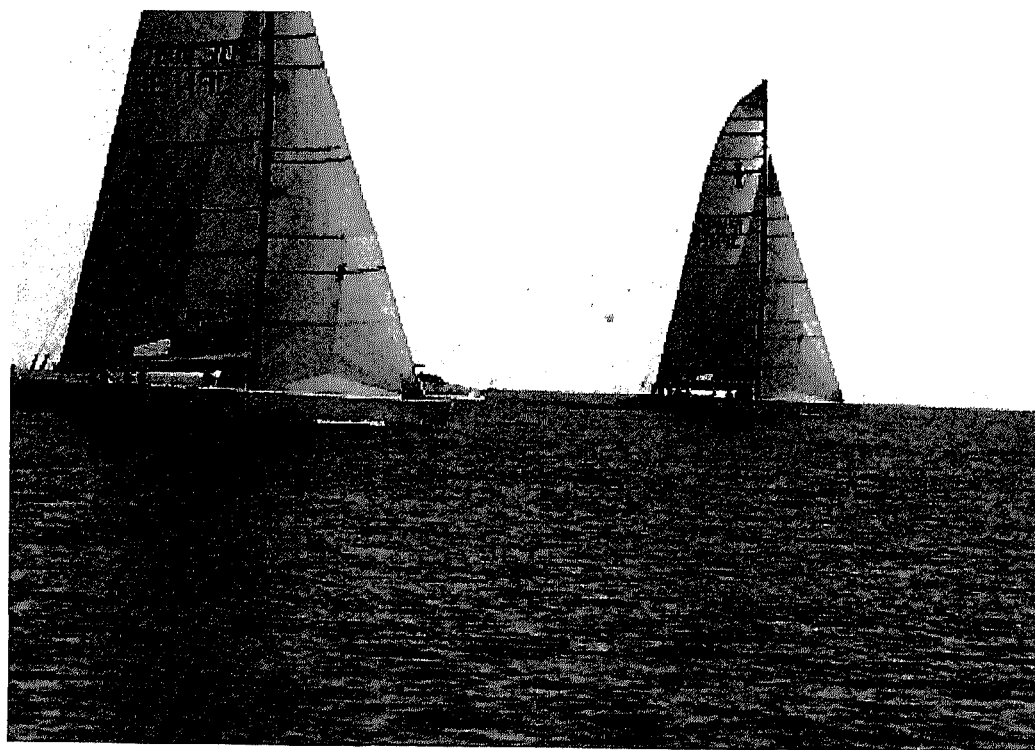


写真5 アメリカズカップ艇

(モータークルーザー) もヨットの範疇に入ります。

船はエジプトでB.C.3500年頃にはすでにあったといわれ、帆(セール)を使った船はB.C.2000年頃から作られていました。いわゆる「帆かけ船」です。15世紀に入ると目ざましい進歩がなされ、ポルトガルでは三角帆が使われ、帆だけで思う方向に走れるようになりました。ヨット(yacht)という言葉はオランダからイギリスに伝わった言葉です。17世紀のはじめ、オランダがヨーロッパの政治・経済を支配しはじめ、同時に全ヨーロッパの船舶の半数以上を所有するようになりましたが、その頃、陸と船、船と船との連絡に使用する小舟をJACHT(ヤハト)と呼んでいました。これは現在の「ヨット」の語源とされています。16世紀クロムウェルの反乱があった頃、イギリスのチャールズ二世は清教徒革命のため、オランダに亡命していました。その時JACHTを楽しむ事を覚え、1660年に王政復古で即位したお祝いにオランダから2隻の狩猟船JACHTが献上されました。イギリスではJACHTをYACHTと書くようになり、この時からヨットの歴史が始まったといわれています。そしてヨーロッパ諸国では次期帝王の人間形成・人格教育のためのスポーツとして発展してきました。以前は特定の人たちのスポーツと考えられていたヨットも現在では海洋スポーツのひとつとして「楽しみながら、身体と精神を高めるスポーツ」として発展を続けています。オリンピックのテレビ放映では全種目のうち最も視聴率が高いのですが、日本では全く取り上げられずマイナースポーツの域に甘んじています。かの有名なアメリカズカップ(写真5)は1851年(嘉永4年)に始まりますが、日本では鎖国時代の真最中で、当時の日本の船は遭難率80%といわれ(政策上)、非常に危険な乗り物というイメージが出来上がり、スポーツとしてのヨットの発展にブレーキとなっています。しかし東

京オリンピックをきっかけにヨットハーバーも充実しはじめ現在では各地に作られてヨット人口も爆発的に増加してきました。さらにアウトドアスポーツの流れにものりヨットだけではなくボートセイリング等々海洋スポーツは今後さらに発展していくと思われます。

今回はヨット競技の中で最も過酷なレースであるWHITBREAD ROUND THE WORLD RACEをとりあげ、レースの様子をビデオで紹介します。

ウィットブレッド世界一周ヨットレースは全航程31,600海里(約56,880km)を12名のセイラーが9ヶ月をかけて行われます。地球がスタジアムといわれています。強烈に暑い赤道や極寒の南永洋をも舞台にし全くの無風からどうやって抜出すか、逆に50ノット(90km/h)の風の中をどのようにして乗り切っていくのか。なにと遭遇するかわからない大自然の中を科学技術を駆使しただけでは絶対に不可能なチャレンジに向かわせるものは何か。地球自身をスタジアムとしたスポーツが他にあるだろうか。この映像の中から単にヨットレースだけではなく、一緒にレースを行う人と人との精神的な関わり合い、自艇と他艇との関わりあいなどを見つけ出してほしいものです。

Leg 1—Southampton (great Britain)—
Cape Town (South Africa)—
7,350 n mile

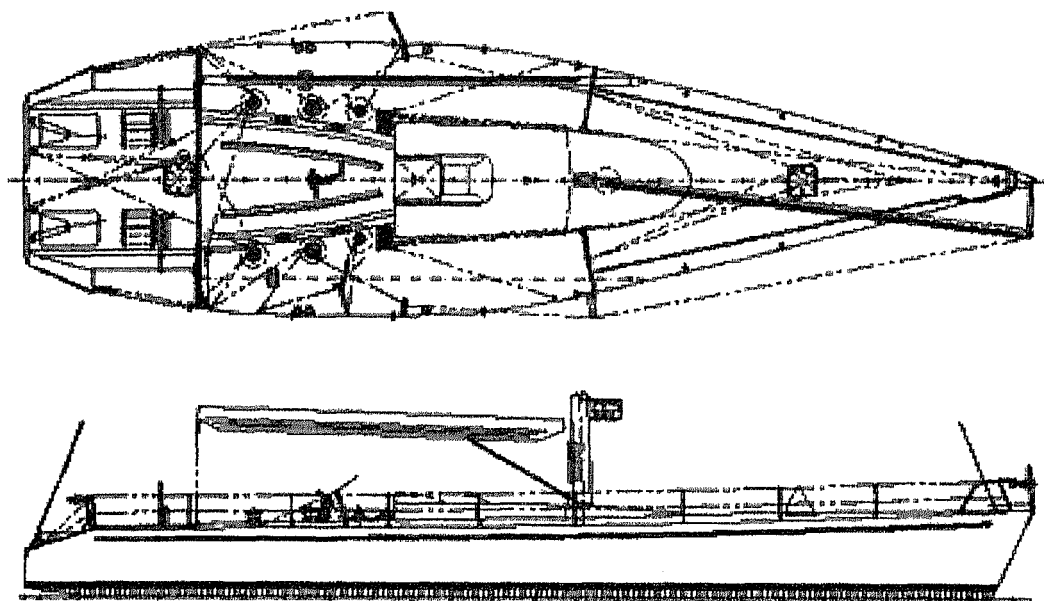
Leg 2—Cape Town—Fremantle (Australia)—4,600 n mile

Leg 3—Fremantle—Sydney (Australia)—
2,250 n mile

Leg 4—Sydney—Auckland (New Zealand)—1,270 n mile

Leg 5—Auckland—Sao Sebasstiano (Brazil)—6,670 n mile

Leg 6—Sao Sebasstiano—Fort Lauderdale (USA)—4,750 n mile



W60 Class Design

Leg 7 —Fort Lauderdale—Baltimore/
Annapolis (USA)—87 n mile

Leg 8 —Baltimore/Annapolis—La Ro-
chelle (France)—3,390 n mile

Leg 9 —La Rochelle—Southampton—
450 n mile

*n mile → 1,852m

Leg 1 → 7,350 n mile → 13,612Km

全セーリング距離は約31,600 n mile →

56,880Km

法定マイルと海里

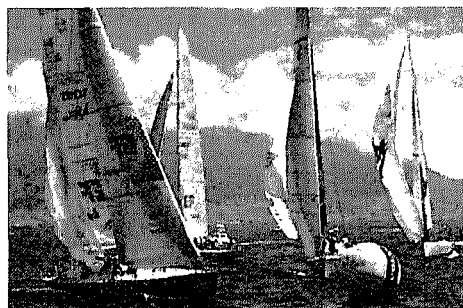
マイルには Statute mile (法定マイル) と
Nautical mile (海里) があり、現在も両方使
われています。Nautical は「航海上の」とい
う意味です。

法定マイル

海里

1 mile = 1,609.344m *1 n mile = 1,852m

国際的には1929年に 1 Nautical Mile =
1,852m と定められました。これにも意味があ
ります。地球を1周すると40,000kmですが、



レース開始直後の様子

これを360度で割って更に60で割る、つまり1
分の角度に対する長さを求めてみます。
 $40,000,000\text{m} / 360 / 60 = 1,851,852\text{m}$ です。そ
れで、1 n mile = 1,852m です。

Whitbread のレース艇はワンデザインであ
り出場するヨットはすべて同じ大きさです。

ヨットの大きさは：

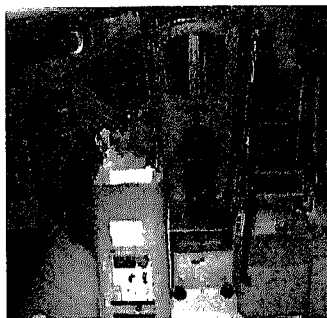
全長 19.5m 幅 (最も広い部分)
5.25m 重量 13,500kg メインセ



内部の模式図



ナビゲーション・ルーム



エディティング・ユニット



サテライト・アンテナ

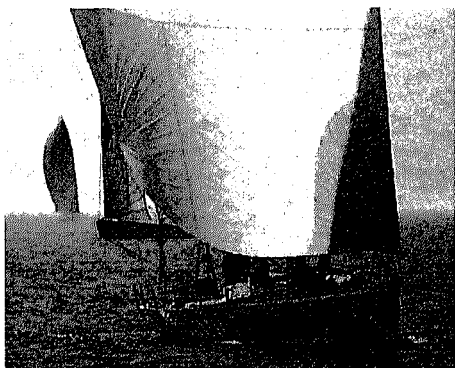
ール 117.0m² スピンネーカ (横・追
い風用セイル) 300.0m²(最大) ジェ
ノア (前方にある小型のセイル) 83.0m²
マスト高 26.0m
です。

ヨットの建造費は約2億円、ヨットを管理
するには週に110万円、レース中に必要な経費
は平均12億円 (レースメンバーの経費、陸上
のスタッフ経費、ヨットの部品の予備・修理
等々) です。

このレースに出場したのは 1. America's
charennge 2. Brunel Sunergy (オランダ)
3. Chessie Racing (アメリカ) 4. EF
Education (スウェーデン) 5. EF Lan-

guage (スウェーデン) 6. Innovation
Kvaerner (ノルウェー) 7. Merit Cup (ニ
ュージーランド) 8. Silk Cut (イギリス)
9. Swedish Match (スウェーデン) 10.
Toshiba (アメリカ) の10チームでした。それ
ぞれの艇には各国さまざまなスポンサーがつ
いています。

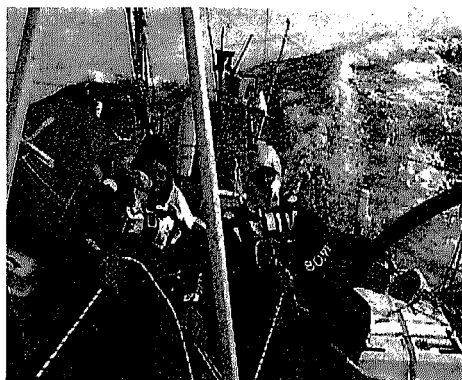
このレースの公式スポンサーは 1. VOLVO
(海上輸送のモーターボートやレスキュー(ボ
ルボペンタ)) 2. Compaq (データ処理用
コンピュータ) 3. CompuServe (インター
ネット配信) 4. Sperry Top-Sider (フッ
トウェア) 5. Marriott Hotels (宿泊関係)
6. Kinnarps (家具製造) 7. Champagne



穏やかなセーリング

Mumm (シャンペン) 8. Peters & May
 (船や飛行機の手配) 9. Nera Telecom-
 munications (通信衛星との機材) 10. Bod-
 dingtons (ビール製造) 11. Sony Broadcast
 and Professional UK (撮影機材) 12. RFD
 Ltd. (マリンサプライヤー) 13. The Nuffield
 Hospital Group (メディカルキットの貸与)

このレースの様子はカナダ, スペイン, サ
 ウジアラビア, フィリピン, スペイン, モナ
 コ, メキシコ, マルタ, クウェート, ブラジ
 ル, チェコ, パーレン, アルゼンチン, フラ
 ンス, イギリス, スウェーデン, ウルグアイ,



南氷洋でのセーリング

アメリカ, オーストラリア, ノルウェー, オ
 ランダ, アイスランド, デンマーク, フィン
 ランド, ニュージーランド, 日本のテレビで
 も放映されている。但し日本以外の国ではレ
 ース期間中は週1回は放映し1回1時間程度
 である。この事からも海外でのヨットの認知
 度は日本に比べ非常に高い事が理解できる。

また, インターネットでは <http://www.VolvoOceanRace.org/homepage.html>
<http://whitbread.quokka.com/main.html>
 で情報を得る事ができます。次のレースは2001
 年9月に始まります。